

アーカイブ Data Report NO. 56

(2020年10月31日)

〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町10番地 杉山ビル5F
E-mail: shikaku@npo-nak.com URL: https://npo-nak.com

過去の資料で「学習指導力、学力向上」の課題解決（1） ～活用結果から学習指導の方法を学ぶ～

平野 朋美（岐阜女子大学院生）、眞喜志 悦子、
後藤 忠彦、横山 隆光（岐阜女子大学）

1. 学習指導力、学力向上

デジタルアーカイブの利活用の一つとして、人々のもつ課題の解決に使われる効果を上げている例がある。沖縄での学力の向上、その基礎となる教師の学習指導力の向上に関する情報を過去～現在の教育実践研究を用いて分析し、全国学力・学習状況調査で全国最下位の県の小学校（実践研究校）を全国でも上位にした例を紹介する。

2. 沖縄の学力の向上 ⇒基礎として教師の学習指導力の向上が必要

沖縄の状況

- (1) 2012年迄 沖縄の小学校の学力・学習状況調査の県の平均点は全国最下位
(沖縄の先生方から、沖縄の学力の向上、何か良い方法はないか！)

科目	2007	2008	2009	2010	2012	2013	2014	2015
国語A	47	47	47	47	47	46	32	32
国語B	47	47	46	46	47	47	32	13
算数A	47	47	41	46	47	47	6	6
算数B	47	47	47	47	47	46	34	26
平均	47	47	47	47	47	47	24	20

- (2) 2012年 岐阜の過去(1967～1981)に実践研究の論文、研究資料、報告、授業資料
学習反応分析データ等のデジタル保管を用いて学習指導の基礎項目を求め、指導方法を分析・解析の処理をした。(確認、発問、グ・全討論、教師・児童のコミュニケーション、言葉、くり返し学習、授業の構成について) …デジタルコンテンツを使い分析、解析し望ましい方法を見出す！

- (3) 2013年 長尾順子先生等が学校の教師が理解できるように手引きを作成

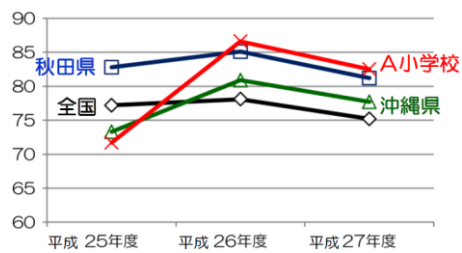
- ・県内全体の小学校に「手引き」を配布（利用されたかは不明である。）
- ・実践研究校として資料を提供し、A小(井口教頭)、B小(宮城教頭)の2校で実施

(注)2013年には、学力の向上が他の調査で見えだした。…博報堂の研究支援(長尾先生)

(4) 2014 年以後 A、B 小学校とも学力が向上した。(全国学力・学習状況調査)

・沖縄県全体 教育委員会、学校、先生方の大変な努力で 2014 年度から上位へ

A 小学校



B 小学校

	全国平均	沖縄平均	参考※ B校順位
国語A	70.0	69.3	22
国語B	65.4	67.3	4
算数A	75.2	77.7	3
算数B	45.0	44.7	4
理科	60.8	59.0	1
総合	63.28	63.60	4

※B校の順位は、B校を全国48番目の県とした場合の順位

要保護・準保護家庭 47%の経済的に厳しい地域

以前は最下位
2016 1位
2017 1位
2018 1位

市内 16 校中
経済的に厳しい中
でも先生方の努力
で「学力は向上」
する。

不登校 0 名 (800 名中) (一人ひとりの児童を丁寧に指導した)

(注) 短期間で学力の向上が見られた。(その後も学力は下がらなかった。)

3. 初任者として 1967 年～現在 (沖縄で結果) の活用を考えるための検討

1967 年から、岐阜で学習資料研究会の先生方が約 2000 時間の授業の学習反応 (理解の状況) と言語活動、研究資料、論文等を収集し整理された。これを 2012 年から分析・解析した結果を手引きとして整理・提供され、沖縄で教育実践が公開された。その成果を元に評価・改善した多くの手引き、参考資料が提供されている。初任者に役立つ資料である。

① 発問・確認…質問について

質問 (確認・発問) の学習者の応答時間は McGill の仮説として

(応答時間) ~ (受け止める)、(考える・課題解決)、(決定行動)

が示されている。確認の約 1/2 は約 8 秒以内で応答し、発問の半数は約 14 秒以内で応答している。

	Q1	Q2	Q3
確認	4秒	8秒	14秒
発問	10秒	14秒	20秒

この結果から、発問後に教師は、考えさせるため待つことが重要 (初任者にとって役立つ情報であると考えられる。)

確認・発問の応答時間
Q1,Q2,Q3は4分

・それまでの学びのプロセスから受け止めやすい発問をする。

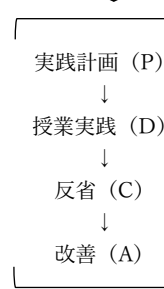
・発問してから最低 10 秒は考えさせる。(ヒント、説明をしない)

同様に、教師と学習者のコミュニケーション、グループ・全体討論、言葉の指導、くり返し学習、授業の構成等の学習指導の基礎を明らかにした。(他で報告)

4. 初任者が適用するために

デジタルアーカイブから得られた結果を教育の実践に適用するには、研究資料や論文等の内容を理解し、授業実践に立ち向かう必要がある。沖縄県の A・B 小学校の場合とは違い、客観的に指導して下さる教師はいない。そこで、自分でビデオ撮影等を行い客観的な視点を持ち、反省・改善をしなければならない。日常的に授業実践と反省・改善を繰り返し、「授業分析の視点」を再検討することで「できる」ようになると思う。

研究資料や論文等の内容理解



P
D
C
A
の
ス
パ
イ
ラ
ル
ア
ッ
プ

